



農高祭お疲れ様でした。

校長 一ノ瀬 淳

今年の農高祭は、人数を制限しながら保護者と中学生の方に来校していただき、全日制・定時制合同で無事に開催することができました。保護者のうち約9割以上の方が来校し、来場者数は2日間で約1,300名でした。アンケートによる皆さんの満足度は5点中4.7点で非常に高かったです。

皆さんにとっても手探りの中で、先生方の協力を得ながら、実行委員長の加藤 己瑤さんや各クラスの実行委員を中心に協力し、創り上げてくれたと思います。本当に素晴らしい農高祭でした。

ある保護者の方が、自分のお子さんと違う学科の発表会場へ行った時、「説明が丁寧で、分かりやすく、楽しそうにずっと説明してくれ、本当に素晴らしかったです。」とわざわざ校長の私のところにお話ししに来てくれました。

私も「みんな自分の好きなことをやっているから、楽しくて話してしまうのですかね。自信がある事だから、自然と自分から進んで説明してしまいますね。これがうちの学校の良いところだと思います。」とお返ししました。

本校の文化祭は日頃の学習成果を発表する場です。皆さんは、これまで学んできたものを自信をもってそれぞれの場所で発表することができたと思います。特に3年生は、最後の文化祭ということもあり、よく頑張ってくれたと思います。

私たちは、専門分野について突き詰めて勉強していますが、これからの時代には、突き詰めた専門性の上に、新しい発想と考えが必要な時代になります。その力を養うためには、他の分野の取組を知り、参考にし、連携することが必要になってきます。

今回、ファッションショーの中で、都市園芸科の草花専攻の生徒が作成したブーケやアクセサリがドレスと合わせて発表されました。また、食物科の料理に都市園芸科の生産物や食品科学科のジャムが提供されました。

今、調理師は食材がどのように作られているのか考えながら料理を作る必要があるし、生産者は消費者がどのようなものを求めているのか考えながら生産品を作る必要があります。皆さんには、農産物を作る、庭を造る、食品加工物を作る、服を作る、料理を作る、という基本的な技術を習得した上で、さらに何か一つか二つの新しいものを付け加えて、それぞれの価値ある物を創り出して欲しいと思います。これが、『夢を創造する農業・家庭のプロフェッショナル』の第一歩になります。是非、チャレンジしてください。





文化祭を終えた3年生の感想

❀食物科 3年5組❀



今回の文化祭で1番苦労したのはメニュー決めです。予算や旬の関係から、最初に決めたメニューとは大きく異なる形になりました。何回もレシピを書き直し、試作を重ねて、講師のプロの料理人の方々にもご協力いただきました。その結果、お手頃の価格で皆さまにご満足いただけるものが作れたと思います。

文化祭当日は朝早くから仕込みが始まり、提供が終わってやっと着替えられるのは他クラスの生徒がすっかり帰った後。出し物を見て回る余裕もありませんでした。1日目の帰りには、3年5組の誰もが「これを2日間は無理!」とこぼしていたのをよく覚えています。しかし、この文化祭を通して得たものも多くあり、クラスの絆がより深まったのを感じました。卒業する前に3学年合同で文化祭ができてよかったです。大変だった2日間でしたが、この思い出がよいものとしてみんなの心に残ればいいな、と思います。

手塚 小春

❀服飾科 3年4組❀

2年間ショーリーダーを務めさせていただきました。ファッションショーに出演することも、ショーリーダーになることも、私の入学前からの夢でした。関わってくださったすべての皆様、ありがとうございます。 大多和 満



クラスみんなでつくるファッションショーは、私一人では想像もつかないアイディであふれていました。理想通りと予想外が重なって最高に楽しかったです。ご覧くださったみなさま、本当にありがとうございました。 長谷川 寧々

3年目の学校生活、高校生活最後のファッションショー。好きと楽しいが詰まった舞台をみんなで作り上げ、お褒めの言葉も多くいただきました。出演者として、そして一観客としても心行くまで楽しむことができました。 村上 由香



それぞれの思いを胸に、それぞれが輝けたファッションショー。すべてが順調に進んだわけではありませんが、その悩んだ日々も素晴らしい思い出になりました。2日間幸せでした。ありがとうございました。 米津 七夕





❀ 都市園芸科 3年1組 ❀

私たちは、野菜・果樹・草花・フラワーアレンジメントの専攻ごとの生産物販売と正門の装飾を行いました。私たちの学年にとって最初で最後の学校全体での文化祭ということもあり、よりよいものを作りたい、成功させたいという気持ちが一人ひとりにありました。

門装飾は草花専攻でデザインを考え、草花専攻が中心となってクラス全体で作りました。農業高校らしい草花や竹で色鮮やかな門ができました。

農産物販売では、お客様から質問にも3年間で蓄えた知識を活かして丁寧にわかりやすく生産品をお勧めでき、たくさんの方が笑顔になっていました。良い買いものができた、安くてうれしい、とのお言葉をいただいたときは、今までにない喜びを感じました。

他学年、他クラスの生徒が買いに来てくれたり、同時に私たちが食べたり、ファッションショーを見たりすることで交流ができたこともうれしかったです。今回の農高祭は高校生活の大切な思い出になりました。

秋山 朱音



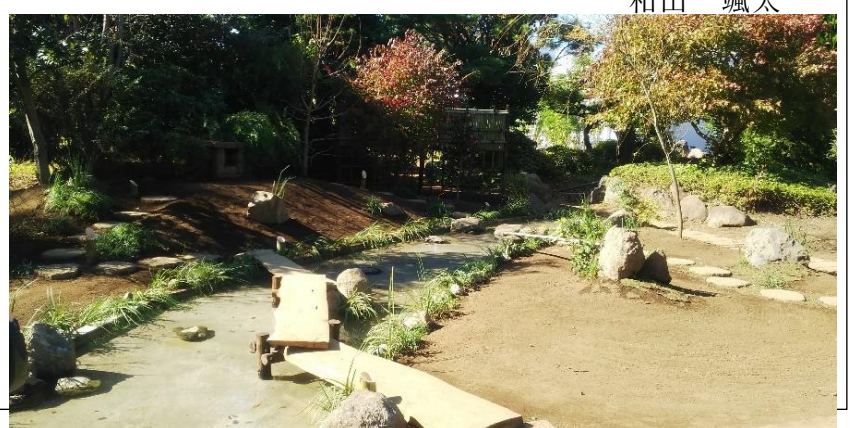
❀ 緑地計画科 3年2組 ❀

僕たちは文化祭本番に向けて卒業庭園制作を頑張りました。5月末から本格的に工事に着手しはじめました。農具を使用して何もない土地をゼロから庭園を造りました。クラスでコンペを実施して、そのなかで選ばれた一人の作品をもとにクラスで意見を出し合い、庭園の制作をしました。僕たちのクラスが、イメージしたのは、人間と河童が共生する世界です。

そこで、一番重要になったのが、河童の世界と人間の世界の境目として、川をつくることでした。川はコンクリートを流し込み、そこに水を入れることで再現しました。コンクリートを流し込むにあたって、川のかたちに沿って土を掘り、排水をするために、約3mの深さの穴を掘るなど、今までの実技経験をフルに活用したような庭園でもありました。

みんなそれぞれ与えられた仕事に真剣に取り組み、誰一人手を抜くことなく最後まで作業をしたため、完成した時の達成感や喜びは僕たち一人ひとりを大きく成長させました。

和田 颯太





❖ 食品科学科 3年3組 ❖

最後の文化祭、3年3組は食堂として料理を提供することになりました。クラスでの話し合い、かけうどん、きつねうどん、肉うどんの3種類をつくることになり、試作を重ねました。まず、めんは、粉からこだわって地粉を使い、太さ、ゆで時間など約4か月にわたって改良しました。きつねうどんの油揚げと肉うどんの肉も、何度か試作しておいしいと思ってもらえるよう、心を込めて作りました。

1年生の時は、文化祭はできませんでしたが、カップケーキやクッキーを販売し、2年生のときは学年ごとの文化祭でブラウニーとラスクを販売しました。どちらも小規模で、あまり楽しむことができませんでした。今回、3年生で初めて学校全体で開催し、全日制、定時制、保護者、中学生も予備、本当にお祭りのようで、高校生活最後によい思い出になりました。

最後に、3年3組のみなさんにはたくさん協力していただいたので、この場を借りて感謝します。ありがとうございました！

中野 天翔



3年3組の課題研究は、2年時から長い時をかけて事前調査を行い、一人ひとり研究テーマを決めました。3年次からは、実際にテーマに沿った実験・実習を各自で行いました。

文化祭では、今までの研究成果を1枚のパネルにまとめ、3年2組の教室にて展示を行いました。研究はお菓子やパンの製造、微生物、色素、香りを利用した実験など様々で、食品に関する個性あふれる内容となっていました。

当日は、多くの方にご来場いただきました。ご記入いただいたアンケートでは「高校生とは思えないレベルの高い研究内容だった。」や「色々な研究があって面白い。」と好評でした。

クラスの出し物であるうどん屋「小川亭」で忙しい中、アンケートの配布や列の整理などの登板をみんなで協力して行うことが出来ました。みなさんありがとうございました。 櫛田 友那

■ 本校の公式ホームページ、Twitter、YouTube ■

生徒の学校生活等をどうぞご覧ください。

Twitter フォロー、YouTube チャンネル登録よろしくお願ひします。



ホームページ



Twitter



YouTube

